

PCXのスタイリングは、「グローバルに共有できる価値」として、LUXURY（豪華）、OUTSTANDING（個性的）、STABLE（落ち着き）をキーワードとして進めてきました。また、世界の市街地の様々な交通環境下で自在に操れるサイズ感も重要視しました。

エクステリア

PCXの今までにない新しいシルエット。それは快適なシットインポジションの居住空間と、その前後に張り出した大径タイヤによる安定感を基本骨格として構成されました。

緩やかに連続するカーブで車体前後をつなぐボディのキャラクターラインにより、ハイライトを途切れさせることなく前後ボディのマスをつなげ、車体に一体感を持たせると共に、コンパクトな車体でありながら、ゆったりと伸びやかなフォルムを造り上げました。

空気に寄与するフロントマスク、ゆったりとしたインテリアスペース、パッセンジャーがしっかりと握れるグラブバーなど、快適性に配慮された様々な要素を大きな抑揚による流麗な曲面で包んだ彫りの深いボディフォルムは、幅ひろいグラデーションで光を反射し、クラスを超えた上質感を演出しています。

従来、主に250cc以上のハイクラスなスクーターに採用されてきたボディマウントスクリーンを備えたPCXのフロントは、ウエスト部にキャラクターラインと関連させた「くびれ」を設けることにより、その上方に125ccクラスにふさわしい軽快感をもたせ、下方は重心の低い安定感を感じさせる造形としました。

デュアルヘッドライト、ウインカー、ポジションライトを一体化したフロントコンビネーションライトが、他にはない大きな煌きを持つ、存在感のあるPCXならではの顔を造り上げています。

軽快に走れるその性格を表現する、スポーティに切り上げられたスリムなリアボディは、大きくつかみやすいグラブレール、クリアカバーされたテールコンビランプと共にボディ全体の抑揚に沿って、一体感のある上質なスタイルを造り上げました。

